



前任職本葬で使われた遺影（7月3日順慶寺本堂向拝にて、岡川経康氏撮影）

今月の一枚

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2020年(令和2年)

8月号

VOL.322

◆◆ 遺影 ◆◆

寺族の葬儀では、遺影と位牌は使わない。これが決まりとなっている。密葬で火葬場に出かけたときも、担当者からお寺さんだから普通と違うのだと紹介された。ただ、本葬では、境内で焼香をした一般参列者に、特別に遺影と在りし日を偲ぶスライドが準備された。

◇ 世間の身をまかすことの危うさ ◇

今月の釈尊の言葉も、『ダンマパダ』（七十一・七十二）からの出典です。

「悪い行の果報は

牛乳が凝固するようにすぐに巡らない。

灰に覆われた火のように

徐々に燃えながら忍びよる。

愚か者は、知識と名声を得ても

ついには自滅する。

かれはそれによって、好運をだめにし

打ち碎かれる。」(ダンマパダ)

私たちは、世間に生きる中で、いつも周りを意識し、生活しています。とくに、島国日本では、同調意識が強く、外れたものを除外する傾向が強いように思われます。

今回のコロナ騒ぎの中で、ウイルスに感染してしまった方に対する世間の対応は、かなり厳しいもので、回復しても、理容店に入店することを断られたり、病院での診察を断られたりするケースがあるそうです。

こうした傾向は、日本ばかりではなく、世



今月のブツダの言葉

知識や名声を得ても

愚かさを知らずは自滅する



界中で起こっているようですが、知識や名声、若さや健康を善とし、知識のないものや名声を失ったもの、老いや病いを悪とする、私たちの世間的なあり方を、コロナウイルスがあまり出しているように思います。

◇ 幸いな身とすること ◇

「一撃忘所知いちげつわしよち」という、香嚴禪師きょうげんぜんじが残した有名な禅語をご存知でしょうか。香嚴は、一を聞けば百を知るといふ誉れの高い中国唐末期の禅僧ですが、禅語のエピソードも有名です。かつて、修行の身であった香嚴は、師の百

若院のテーマカット NO.17



丈禪師が亡くなり、兄弟子の瀧山禪師の元で参禅をしていました。

ある日、瀧山は香嚴に、「お前が母親の胎内にいるとき、自身のもっていた本来の面目は何か」と、聞きました。香嚴は吐き返して、「何も答えることができませんでした。それから月日がたつて、香嚴は再び瀧山の所に来て、前にされた質問の意味を覚えてくれないかと頼みま

した。しかし、瀧山は、「私がそれを教えたり、言っただけで、それは私の言葉であり、あとになって、お前にわられるようなことがあるに違いない」と言い、何も教えてくれませんでした。香嚴は、兄弟子なのに人情も知らない僧だと怨み、「こんなに難しいものならば禅はやめて、難しい仏教の教理を捨てよう」と、今ま

とばかり名された。偈頌二百余篇がある。

①【一撃忘所知】

道元禪師の『正法眼蔵』『溪声山色』の第五段に記載。「溪声山色」は、宋の詩人、蘇東坡（蘇試）の有名な詩偈によって書かれている。

②【香嚴禪師】

香嚴智閑禪師。瀧山靈祐禪師の法嗣。初め百丈禪師に従って出家し、後、瀧山に参じた。鄭州の香嚴寺において教化を行ない、龔燈大師

で書き付けていたノートやメモなどは全部焼き捨て、瀧山の元を去り、中国西南部の南陽に小さな庵を作り、そこで自ら慕っていた慧忠国師の墓守することに決意しました。

しばらく南陽に移った香嚴が、墓の庭を掃除していると、箒の先に小石が引っかけかり、小石が飛んで木の根元に当たり、カチンと音をたてて墓に反響しました。その瞬間、悟りが閃きました。それは丁度亡くなった親に会ったような心持で、瀧山が自分に教えなかったことが返って親切の極みであったという事も分かりました。こうして、香嚴は、今までは私の強い愚かな自分だったと気づき、「一撃忘所知」と詠みました。

愚かものとは、世間に流され、本来幸いである我が身に気づかずにいることへの、深い反省を指し示しています。

とばかり名された。偈頌二百余篇がある。

③【瀧山禪師】

七七一〜八五三。百丈懷海禪師の法嗣。福州長齡の人、姓は趙氏。十五歳で出家し、二十三歳で百丈禪師に参じた。後、瀧山に移し、仰山、香嚴、雲峯等を育てた。語録一卷あり。瀧仰宗の祖。唐の宣宗から大円禪師とおくり名された。



《第四回 念仏の催促》
「往生をばとぐるなりと信じて念仏もうさんとおもいたつころのおこるとき」(歎異抄 第一章)
これは今まで勉強してきた中で一番心に残っている一節です。歎異抄の一番初めに書かれている言葉でもあります。念仏しようという心は起こすのではなく起こってくるものなのだ、と筆者は言いたいのではないのでしょうか。なんとなく念仏を称えてきた自分に気づかせてくれた、そんな一節です。

念仏を欲ぶ人
妙好人の世界
[第96回]
《味おうてくれ》
ものだねきちべえ
物種吉兵衛
(4)

堺の妙好人・物種吉兵衛が結婚したのは、三十歳ごろ。近在の農家の娘である、のぶを嫁に迎えました。吉兵衛は、二十五歳くらいで、真宗の教えに目覚め、念仏を頂く生活に入りましたが、その求道への情熱は度外れしたものであったようです。「死んでいけませぬ」という問題に心を奪われ、家のことを放っておいて、どこへも求道の旅に出る。重なる旅の費用を捻出するため、田地田畑の大部分を手放してしまったとい

います。そのため、嫁に来たのぶはひとかたならぬ苦勞をし、家をまもり続けました。平生、吉兵衛は必要最小限の田畑を耕していましたが、旅費を賄うため田畑を売ってからは、魚屋を営んで生計をたてました。妻のぶとの間には、一人娘・いわがいました。が、間法に命をかけていた吉兵衛が、どれほど家省みたか分かりません。吉兵衛が五十歳を過ぎたころ、生涯の師とあがめる、西方寺元明師と出遇い、元明師に従って、数年の間方々を巡って聴聞の旅に出ている間に、一人娘・いわが十五歳ほどで亡くなってしまいました。世間からは、仏法を求めるのは良いが、家族を放っておくのはいかなものか、と後ろ指をさされ、妻のぶは胸のつぶれる思いでした。

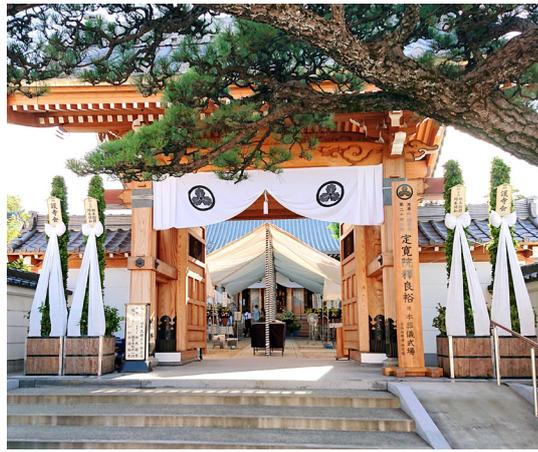
子と共に
「コロナの夏」
令和二年の夏。
本日から今頃東京で二度目のオリンピックが開催され、大いに盛り上がり、家族でテレビ観戦をするのを楽しみにしていました。それが、コロナのおかげで、オリンピックは来年に延期され、一向に明けない梅雨空の下、気持ちまでどんよりしています。

そんな暗い雰囲気の中、将棋の藤井君の活躍は明るいニュースでした。驚くべきは、藤井君がコロナ禍で対戦がない自粛生活の間に、自分の将棋を見つめ直したということ。藤井君は、高三の娘と同じ年ですが、こんな鬱々とした状況の中、背筋をピンと伸ばして、自己と向き合う姿を見せてくれました。朝、学校に向かう小学生たちも皆きちんとマスクをしています。私たち大人もしっかりしなくてはと反省します。

佳帆子
受験生、勝負の夏休みだ。ファイト！



午後から本葬が執行され、岡崎教務所長が前任職の論功を住職に伝達。



葬儀の準備がなされた山門から参道を見る。

前任職を偲ぶ 本葬点描

さる七月三日（金）、順慶寺にて、順慶寺二十世住職・定寛院釋良裕の本葬が挙行され、大勢の門信徒、関係者が参列されました。（写真：岡川経康氏）



午前中にはお別れの読経がなされ、導師は若院が勤めた。



境内参道には巨大なテントが準備され受付場所が設けられた。



受付は現役役員が務め、コロナ対策を十分に施して本葬を実施した。



大勢の方が準備に出られた。（左・お花講、右・障子を直す真役）

◆老院想い出のスライド上映中！以下のQRコードからどうぞ。



◆老院本葬に六百人―七月三日の老院本葬に、午前午後合わせて五百人以上の参列者と、八十人以上の本堂列席者を迎え、葬儀が挙行された。
◆本葬に密塔三対、生花多数―本葬に密塔を参入、責役、護師会、三対、親族、例会、総代、門徒会、関係者などから生花を二十対以上があがる。

編集部短信

七月末に、順慶寺境内西側墓地の側溝工事が終了しました。順慶寺境内墓地で、西側墓地の北側区画の一部には、参拝用通路に側溝が設けられています。参詣者からは、水が捨てられるので便利だという声がある一方、足がはまって危険だという声も寄せられていました。

西側墓地側溝を埋める

七月末に、順慶寺境内西側墓地の側溝工事が終了しました。

こうした意見を受けて、墓地管理委員会では、排水ができるように傾斜をつけて側溝を埋めることとし、工事を進めていきました。



側溝に鉄筋が入りモルタルを入れる

編集雑記

先日、老院の忌明けが終わったので、遺品を整理するために、老院の部屋を片付けていたら、家具が上から落ちてきて、額を切り大量出血しました。翌日、医者に行ったら、骨まで達する大けが。老院に大喝を入れていただいたような気持ちになりました（住）。
.....
七月も終わり大学では上半期の講義も終盤です。ようやく対面の授業になったはいいもの、コロナの影響でまたオンライン授業に戻るかもしれません。困ったものです（若）。

7月度護国寺会物故者

釋正観
6月23日寂 坂野正毅(65)
知立市 坂野弘始様の父

正編院釋尼美香
7月18日寂 鈴木みや(99)
西丘組 前谷和昭様の義母



8月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土		
2	日	↓ コロナ第二波が懸念されるため、本年は、例会や法要等の行事を大幅に自粛します。詳しくは、下記おしらせをご覧ください。	
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		木-1
7	金		
8	土		
9	日	盆会・寺宝風入会(13:00、順慶寺)	
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		木-2
14	金	↑ 盆特別期間(順慶寺境内と本堂を夜間照明)	
15	土		↓

16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		木-3
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	老院追弔会(10時~お楽しみ会、14時~むつみ会、順慶寺)	
25	火		
26	水		
27	木		木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
29	土		
30	日		
31	月		

8月行事内容 詳細

盆会・寺宝風入会

8月9日(日)

午後1時~ 順慶寺

本年も、本堂須弥壇に納骨されている方ご家族、盆経の申経(お経を願い出ること)をされる方に対し、順慶寺本堂にて盆会を開催し盆勤めをさせていただきます。

※本年は、新型コロナウイルスの感染予防のため、三十分おきに五十名様までを本堂にご案内し、お経のみ勤めることといたします。従いまして、法話や須弥壇納骨は実施いたしません。

新型コロナウイルスの影響による順慶寺事業の変更について

順慶寺における、下半期の事業について、新型コロナウイルスの感染拡大への配慮から、以下のようなになりました。なお、内容が変更になる行事については、決まりましたら都度連絡いたします。

《記》

- ①盆会・風入会 ↓前記の通り実施
 - ②祠堂法要 ↓内容変更し実施
 - ③公開講座 ↓中止
 - ④当山報恩講 ↓内容変更し実施
 - ⑤本山報恩講団参 ↓今のところ実施
 - ⑥修正会 ↓内容変更し実施
- ※その他、令和三年以降の行事については都度検討し連絡します。

おしらせ

●例会等の活動自粛について
七月中旬以降、新型コロナウイルス感染症が活発化してきた関係で、感染予防のため、当初予定されていた例会等の活動を以下のように大幅に自粛することとなりました。

なお、当初七月より通常開催する予定だった御命日も前月同様の内勤めといたします。

《記》
むつみ会 ↓ 本年自粛
お楽しみ会 ↓ 本年自粛

●本年度各戸の盆経について
本年の各戸における盆経は、例年通り実施いたします。

なお、コロナウイルス感染予防のため、僧侶はマスクをつけて読経と勤行をさせていただきます。参詣される方も、できるだけマスク着用と手洗いをお願いいたします。

じゅんこのときめき歳時記

もも

七月の終わりになっても、なかなか梅雨が明けません。九州では、大雨で大変な災害が起こったと報道されていますので、本当に早く梅雨が終わってほしいです。学校でもコロナの関係で七月中授業があるので、夏休みが短くて大変です。

先日、おじいちゃんの大好きだった、桃を一箱いただきました。おじいちゃんが亡くなる前に、何故か、「飯田のももが食べたい」と言い続けていたので、いただいた桃は美味しそうに熟していましたが、どうしても食べられず、まずは仏壇にお供えをすることにしました。

お父さんからは、「仏様は、お腹が空いたり、これが食べたいとおっしゃることはないから、大丈夫だよ」と教えてもらいましたが、今回ばかりは、どうしてもお供えせずにはいられませんでした。

溪流に
桃を浸して 姉妹
風間良子

